

2013年度 第6回 煙制御計画小委員会 議事録(案)

記録担当 山田主査, 中濱

A. 日時 2013年10月30日(金) 18:00~20:15

B. 場所 建築会館 201会議室

C. 出席者 山田主査, 山名, 平田, 鈴木, 峯岸, 山口, 長岡, 広田, 淡野, 中濱

計8名(順序不同, 敬称略)

D. 提出資料

No.6-1: 2013年度 第6回 煙制御計画小委員会 議事次第, 他(山田主査)

No.6-2: 「建築物の煙制御計画指針」改訂講習会 開告案(山田主査)

No.6-3: 性能的煙制御設計に関わる科学的知見の整備(山口委員)

No.6-4: 第1章 修正原稿案(長岡委員)

* 改訂煙本の査読回答書, 各章の修正原稿案は, プロジェクターにて表示させ審議を進めた。

E. 審議事項

1. 前回議事録案の確認・各種報告(資料No.6-1~6-2)

- ・前回の議事録の確認を行った。特に修正なく, 了承された。
- ・SFPE主催の性能設計 Case Study について紹介があった。今回は5層吹抜けの事務所で, 吹抜け位置が階毎にずれる点が特徴。興味がある委員は JAFPE へ連絡する。
- ・煙指針講習会の開告案の説明があった。3月5日(水)に決定, 発表関係者(森山委員は要確認)のスケジュールは OK。発表会場は申込み人数に応じて, ホールまたは会議室となる。
- ・事務局から発表者数を絞り込むよう要請があったが, 本小委では当初通り8名の発表とする。
- ・質疑応答は前例がないとのことで中止。その代り, 紙での質問票で対応する。
- ・発表用パワポは各章担当者が作成。旧煙本講習会のパワポを活用する。パワポの締切りは画像配信のために, 当日でなく少し前の段階で提出する。
- ・JAFPEにてEV避難WGを立ち上げ。興味がある委員は JAFPE へ連絡する。
- ・博多の整形外科火災に関する意見交換を行った。1Fで発生した煙は, 奥側の階段の防火扉が開いていたため, 他階へ流出して死者が発生したと思われる。
- ・防火扉は重いため, 日常的な使い勝手から常開させる事例が見られる。煙だけを遮断する軽いスイングドアがあれば, 日常時にも火災初期の煙侵入防止にも有効かもしれない。

2. 性能的煙制御設計に関わる科学的知見の整備(資料No.6-3)

- ・山口委員から, 性能的煙制御設計に関わる科学的知見の整備の概要説明があった。
- ・本検討は JAFPE の避難安全設計のガイドライン WG で行われている。防火関連の仕様規定を評価により減らしていくという現状の設計の流れから, 評価により必要な防火対策を設置していくという流れに変えていきたい。
- ・煙挙動の予測ツールについて, 空間的特徴と煙制御対策の点から, グレードに分けて整理していきたい。ツールがない場合は, 大学等と連携して共通のプラットフォームを整備していく。

- ・表 2.1 ツール整備状況では、火災フェーズによって出来る出来ないを考えた方が良い。
- ・山口委員と長岡委員がまとめ役で、本小委員会内で進めていく予定。

3. 改訂煙本の修正報告（資料 No.6-3）

< 第 2～7 章まで >

- ・第 2 章 発熱速度の部分を加筆。図 2.2.2 にイメージ図を掲載。SP 設備の作動により、発熱速度が一定と扱う手法も説明。
- ・第 3 章の課題で挙げた記述は、ある有識者のコメントに基づき、厳しめの内容で記述。修正原稿案を各委員に送付するので、メールにて審議する。
- ・3.2.6 節は、節の内容全てを削除する。図 3.2.4 の内容は残す。
- ・第 4 章は細かい部分の修正のみで、修正完了。第 5 章も同じく、修正完了。
- ・第 6 章では、二層ゾーンの解析例における付室内の上部層の垂れ下りの扱いを協議した。実務的観点から、付室内の煙性状のグラフ（図 6.7.5,6.7.6）は残し、注意書きを小さくして簡潔に示すことになった。また、煙層と空気層を区別するため、煙層には色を付けて表示する。
- ・6.7 章のタイトル「シミュレーションによる解析例」を修正する。
- ・第 7 章は特に問題もなく、修正完了。
- ・付録では、金井ビルの火災を追記した。気になる点があれば、委員全員に連絡をする。

< 第 1 章 >

- ・長岡委員から、第 1 章の修正原稿案の説明があった。主な修正点は以下の通り。
 - ・図 1.1.1 の差圧表示。+ , - の表記も示せばよい。
 - ・1.2.1 煙制御設計の目的 を過去の経緯も踏まえて大幅に加筆。
文頭に、「1.1.1 節で述べたように」を加えた方が良いのではないか。
第 5 次改正の「第 5 次」は削除。西暦（昭和～）の表記に直す。
 - ・図 1.2.1,1.2.2 を修正。 図 1.2.2 は見易くなるように修正する。
- ・1.2.2 (3)システムの信頼性を追記。
- ・表 1.3.1 を整理 表中の文章が長い。表内の文章を短くするか、表 1.3.1 は削除する。
- ・最新版の査読回答案は、長岡委員から山田主査へ送付する。11/5 の週に委員に見てもらい、コメントがあれば委員全員に連絡をする。

< 今後の対応 >

- ・10/31, 序文, 第 3 章, 第 6 章, 付録の修正案が山田主査から委員に連絡。コメントがある場合、11/8 までに全員宛てのメールで返信する。
- ・11/11 の週には、最終原稿をまとめたい。
- ・査読者には査読回答のみをメールで返信する。最終的な製本版を査読者に渡す予定。田中先生には、査読回答と修正原稿を山田主査から送付する予定。

次回の委員会は、2013 年 12 月 12 日（水）18:00～20:00 まで、本会会議室で開催します。

議題 (1) 性能的煙制御設計に関わる科学的知見の整備

(2) その他話題提供 等

資料を提出される方は、あらかじめサーバーに(委員会用オンラインストレージ)にアップする

か、当日準備(14部)して下さい。

- ・委員会用オンラインストレージ：<http://www.aij.or.jp/commstrage.html>
 - ・利用方法：http://www.aij.or.jp/jpn/databox/2013/how_to_use_online_strage.pdf
-